



“ぎまままに” 川柳

おきな子は 話し通じず じたを踏み ラン	口下手は 聞き手に成って 知恵を出す チロ	口下手を 見守る嫁に 今感謝 高野まき	口下手は 聞き上手にて 世わたりし ジョージ	口下手も 寡黙と言え 長所なり ぼこべん	咳きも 口下手になる ツイッター 月丘夢子	口下手は そだねそだね 最後まで 浮草	にらまれる 嫁をほめても おだてても 早乙女勇樹
-------------------------------	--------------------------------	------------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	------------------------------	-----------------------------------

今月のお題

口下手

**■応募方法**  
 住所・氏名またはペンネームを明記し、直接または郵送、Eメールで広報広聴係へ。  
 〒509-5192 (住所不要)   ✉ koho@city.toki.lg.jp  
 ☎ 1111 (内線185) / FAX 7763  
 ※応募多数の場合は採用されないことがあります。

**8月1日号の投稿募集**  
 お題は「浴衣」です (1人1句)。  
 締め切りは7月19日(木)です。

### わたしのほやねさん

「ほやねさん」とは…  
 つらいときや悩んだとき、そっと寄り添って「ほやね、ほやね」と話を聞いて、心を支えてくれる人

息子は他の子と比べるとどこか違う…。そんな不安を感じての保育園入園。今から15年前のことです。2歳児から年中組までの3年間、周りの人たちに励まされ過ごしてきました。言葉の発音が遅い、自分のことがなかなかスムーズにできない、不安な毎日でした。そんな頃、通園時にいつも笑顔で受け入れてくれたK先生は、私が泣き出しそうなとき「大丈夫！大丈夫!!」「お母ちゃんの涙はあかんよ」と肩をポンポンとたたいてくれました。“息子の歩みをしっかり見詰め、やれることを増やしていこう！私は一人じゃない” そう思えた3年間でした。

卒園式当日、先生と私と息子の3人で写真を撮りました。涙があふれました。無言で抱き合い、先生はまた肩をポンポンと…。今でも、ふっとそのときの感触が温かく思い出されます。数年たって、先生とばったり出会ったときも、「嬉しい！会えて嬉しい!!」と、とても喜んでくれてまた涙が出そうになりました。「息子も大学生に…」そんな近況が話せたひとときでした。K先生、あなたは私にとってのほやねさんです。



ペンネーム かたつむりママ (駄知町)

## 募集

掲載の「わたしのほやねさん」ストーリーの他、市内に実在する「まちのほやねさん」を募集します。あなたがこれまでに会ったほやねさんを400字程度の紹介文と一緒にお願いします。

**■応募方法**  
 住所・氏名またはペンネーム・電話番号を明記し、直接または郵送、Eメールでまちづくり推進課へ。  
 〒509-5192(住所不要)   ✉ machisui@city.toki.lg.jp  
 ☎ 1111(内線186) / FAX 7763  
 ※応募多数の場合は採用されないことがあります。